



社協だより

かけはし

発行

社会福祉法人

四日市市社会福祉協議会

四日市市諏訪町2番2号

電話 059-354-8265

ファクス 059-354-6486

E-mail

yonsyakyo@mth.biglobe.ne.jp

平成20年10月20日発行

第98号

平成20年度 四日市市社会福祉大会のご案内

期日 平成20年11月14日(金)

場所 四日市市文化会館 第2ホール

内容 第1部 式典 午後1時30分～午後2時30分
(福祉功労者の表彰など)

第2部 講演 午後2時40分～午後4時
演題 『～明日(あした)に生きる～
人と人、心と心のふれあいづくり』
講師 正司 歌江(俳優)

どなたでもご参加して
いただけますので、
多数お誘い合わせのうえ
ご来場ください。



▲講師／正司 歌江(俳優)

その他

- ・入場無料
- ・手話通訳・要約筆記があります。
- ・赤外線補聴システム・磁気誘導ループ(補聴器使用の方に、マイクの声が聞こえやすくなります)を設置します。
- ・託児あります。(10月31日までに要申込)

問い合わせ先

市社協 総務課管理係

電話／059-354-8265 ファクス／059-354-6486

社協だより「かけはし」のイメージキャラクター募集

かけはし創刊100号(平成21年2月発行)を記念して、「かけはし」が市民のみなさまに、より親しんでいただけるように、イメージキャラクターを募集します。

応募方法

A4サイズの用紙に、①キャラクター及びその説明と名前、②住所、③氏名、④電話番号などの連絡先を明記のうえ、11月28日(当日消印有効)までに、市社協総務課管理係に届けていただくか、郵送にて提出してください。(Eメール、ファクスでの受付不可、記入漏れ不可)

その他

- 結果につきましては、かけはし100号で発表し、かけはし101号から使用させていただきます。
- 採用作品には賞品を進呈します。また、応募者全員に参加賞があります。
- 採用作品に関するすべての権利は、四日市市社会福祉協議会に帰属します。なお、補作する場合があります。



応募・問い合わせ先

〒510-0085 四日市市諏訪町2番2号 市社協 総務課管理係

電話／059-354-8265 ファクス／059-354-6486

第98号の
おもな内容

- 赤い羽根共同募金運動、たんぽぽ“お茶会”、障害者福祉講座 のご案内…………… P2、3
- ボランティアセンター20周年記念行事のご案内、地域の福祉活動紹介コーナー<66>など…… P4

ホームページを開設しています。<http://yokkaichi-shakyo.or.jp/home/>

赤い羽根共同募金運動 … 平成20年10月1日～12月31日 …



今年も「地域の福祉、みんなで参加」のスローガンのもと、10月1日から12月31日まで「赤い羽根共同募金運動」が全国一斉に開催されます。

市民のみなさまには、地域福祉の推進を目的とする「赤い羽根共同募金運動」に格別のご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

みなさまから寄せられた寄付金は、三重県共同募金会を通じて民間の社会福祉施設や福祉団体などに配分されるなど、地域福祉の充実に大きく役立てられています。誰もが安心して暮らしつづけることができる福祉のまちづくりのために、今年も地域のみなさまの温かいご理解とご協力をお願いいたします。

四日市市共同募金委員会事務局 四日市市社会福祉協議会
電話:059-354-8265 フax:059-354-6486



Q 募金はどれくらい集まるの？

A 四日市市内での平成19年度の実績は一般募金で36,360,062円、歳末たすけあい募金で7,468,956円、合計43,829,018円の募金をいただきました。ありがとうございました。

募金の種類は、各世帯にお願いする「戸別募金」、企業などにお願いする「法人募金」、そして小・中学校、高等学校の児童、生徒のみなさんが中心となって行っている「学校募金」などで、広く市民のみなさまにご協力いただいております。

なお、募金は決して強制ではありません。みなさまの自発的な善意によって、ご協力いただける範囲でお願いしております。ご理解の程、お願い申し上げます。

※ 一般募金は民間の社会福祉団体や施設の行う事業に翌年度配分されます。

※ 歳末たすけあい募金は支援を必要としている方、民間社会福祉施設などに当年度配分されます。



Q 集まつた募金は、どこで役立てられているの？

A みなさまから寄せられた募金は、一般募金として、福祉施設の設備の充実や改修、福祉団体の活動支援、地区社会福祉協議会の活動や市社協による地域福祉充実のための事業に役立てられています。また、歳末たすけあい募金は、在宅ねたきり高齢者、在宅認知症高齢者、在宅重度身体障害者の方々のほか、障害者施設や、母子生活支援施設の利用者、私立保育園などに歳末見舞金として配分されます。



みんなの気持ちが届いています！ありがとうございます！



製品づくりをお手伝いしていただけるボランティアさんを募集中です！



「小規模作業所 来夢」

私たちは、障害のある方々が作業などを通して、社会参加ができるように活動しています。

今回、共同募金の配分金で「手織り機」と「ロックミシン」を購入し、新たな製品づくりにチャレンジしています。

手仕事なのでなかなかはかどりませんが、色とりどりの糸や布地を何に加工したら喜んでいただけるかと、楽しく作業を進めています。

「お茶会」を開催します！ 地域のみなさんと秋を楽しみながら交流 四日市市障害者自立支援施設 たんぽぽ 地域交流・啓発事業

四日市市障害者自立支援施設たんぽぽでは、障害のある人たちへの理解と、施設への理解を深めていただくことを目的として、昨年から「お茶会」を開催しています。

昨年は施設の利用者だけではなく、四郷在宅介護サービスセンターの利用者や西日野のふれあいきいきサロン「やんばいやね」のみなさんにも参加していただき、ともに行事を楽しみました。参加された地域住民のみなさんからは「施設の中に入るのは初めてで障害者福祉に興味を持ちました。活動に協力したいです」という声も聞かせていただきました。今年も、より身近な施設、地域に親しまれる施設として第2回目を実施します。

「お茶会」では松尾流の先生方を中心として、施設前の芝生広場にて野点を行います。

お茶菓子は「四郷栗の木林をつくる会」のみなさんとの協力による、栗狩りで収穫させていただいた栗を使用した、手作り栗きんとんでおもてなしをさせていただきます。参加ご希望の方は、下記にお問い合わせください。

日 時 平成20年10月28日(火)午前10時～午前11時30分

問い合わせ先 四日市市西日野町4070-1
四日市市障害者自立支援施設 たんぽぽ
電話:059-322-5567 フax:059-321-8561



障害者福祉講座

障害者福祉センターでは、障害のある人や障害についての理解を促進することを目的に福祉講座を開催しております。今回は、「障害者権利条約」についての講座です。

障害のある人が地域で暮らしていくとき、誤解や偏見といった、日々の暮らしや社会参加を妨げるバリアなどいろいろな問題に直面します。誰もが暮らしやすい地域づくりを進めため、権利条約はどのような意味をもつのでしょうか。地域のまちづくりの参考のためにもぜひご参加ください。

イエローリボンをご存知ですか？



イエローリボンは障害者権利条約の内容を広く世界の人に知ってもらい日本での条約批准をめざすためのシンボルです。

(イエローリボンに関する問い合わせ先)
日本障害者協議会
電話/03-5287-2346
fax/03-5287-2347

Yellow Ribbon

講 演 「地域に活かそう 障害者権利条約」

講 師 メインストリーム協会副代表 玉木 幸則氏

日 時 平成20年12月21日(日)

午後1時30分～午後3時30分

場 所 四日市市総合会館7階 第1研修室

参 加 費 無料

そ の 他 手話通訳・要約筆記があります。

赤外線補聴システム・磁気誘導ループ(補聴器使用の方に、マイクの声が聞こえやすくなります)を設置します。

申 込 12月5日(金)まで

電話、fax、Eメールで氏名・連絡先をご連絡ください。

問い合わせ／申し込み先

市社協 四日市市障害者福祉センター

電話/059-354-8275

fax/059-354-8426

Eメール/y-with@m3.cty-net.jp

笑顔いっぱい! ~ 日永地区 ふれあいいきいきサロン『えがお』~ 地域の福祉活動紹介コーナー(66)

今回、取材に伺ったのは、日永地区にあるふれあいきいきサロン『えがお』です。このサロンが始まったのは、平成14年12月。地域の女性7~8名が集まつた福祉の勉強会で、日永の地域に、地域の人たちが気軽に集える場があればいいな、と話が出たのがきっかけだそうです。今ではスタッフも17名に増え、一部の人に負担がかからないように、また、スタッフも楽しめるようにと、3グループに分けて企画担当を交代で行っているそうです。前田町中部公会所で毎月第4火曜日に行われるこのサロンの活動内容は、創作活動、音楽を楽しむ、季節の行事を楽しむ、おしゃべりを楽しむ、といつ



たその時々に
合った形にとら
われない自由な
内容です。取材
に伺った日は、
身近なエコをテ
ーマにして参加
者とスタッフが

一緒にになって、身近に取り組んでいることが発表されていました。日頃の会話とはまた違って、1つのテーマをもとに参加者とスタッフが代わりにしているお皿の油汚れを洗むのよ」「私も同じいきいきと発表さうできました。

フが「牛乳パックをまな板代わりにしているわ」「ボロ布を使ってお皿の油汚れを拭くと洗剤が少なくて済むのよ」「私も同じことをしているわ」と、いきいきと発表されている姿を見る事ができました。

また、年に1度、市などの出前講座を利用しサロンの参加者だけでなく、広く地域の方にお知らせして、勉強会を開催されており、これをきっかけにサロンに参加される人もみえるそうです。スタッフの人間に今後のことを伺ってみると「一緒に元気を分け合って長く続けていきたいですね。今は前田町で開催していますが、日永地区の北の人が少し遠いので、北の方(日永)でもサロンを開催したいなど考えています」とのこと。サロンの名前のとおり、笑顔が地域全体に広がって欲しいとの思いが伝わってきました。

このような笑顔あふれるサロンが市内
でますます増えることを期待しています。



市社協ボランティアセンター設立20周年記念事業 「四日市市のボランティア活動 すてきな笑顔」 写真展を開催します



市内でボランティア活動をしている方々の「すてきな笑顔」の写真を展示します。

ボランティア活動の相談もお受けします。
ぜひお立ち寄りください。

日 時 平成20年11月1日(土)～3日(祝・月)
※ボランティア相談は、いずれも、
午前10時～正午 午後3時～午後5時
場 所 イオン四日市北ショッピングセンター2階通路



問い合わせ先

市社協 ボランティアセンター
電話／059-354-8144
ファクス／059-354-6486

心あたたまるご寄付
ありがとうございました

四日市市社会福祉協議会事業に、みなさまからのご寄付、ご寄贈をいただきました。ここに厚くお礼申し上げます。

(平成20年8月2日～平成20年10月1日)

- 川村 恵之助様
 - 小林 阜夫様
 - 小山田老人クラブ連合会様
 - 株ふじや本店光倫会館様
 - 太宝物産(株)代表取締役 生川 平藏様
 - 三重演歌塾 代表 真坂 孝夫様
 - 三ツ谷合同自治会様
 - 三浜紙器(株)代表取締役社長 南川 伸一様

《香典返しの一部を社会福祉事業に》

ご寄付いただいた「香典返し」や「お祝い返し」は、社会福祉事業に活用させていただきます。

四日市市社会福祉協議会では、みなさまの温かいご寄付をお待ちしております。



ご寄付いただきましたら、あいさつ状(上記参照)を作成し、発送させていただきます。